

保護者向けリーフレット「保護者に知って欲しい 多様な性」の作成と活用について

1 作成の目的

令和元年度に開催された、倉敷市セクシュアル・マイノリティに関する課題検討ワーキンググループにおいて、課題の一つとして「教職員・保護者向け啓発リーフレットの作成・配布」が挙げられた。

また、令和3年3月に策定された「第四次ハーモニープラン（第四次倉敷市男女共同参画基本計画）の重点目標2「多様性の理解促進、人権の尊重」に「性的指向・性自認に関する正しい知識を身につけ、児童生徒へ適切に対応するための保護者への教育・啓発を行います。」と示された。

これらのことを受けて、保護者の性的指向・性自認に関する理解を促進するために作成した。

2 作成内容

多様な性に関する基本的な内容や子どもたちの思い、大人にできること、困ったときの相談先などを記載した。

これまでセクシュアル・マイノリティや多様な性について、関心をもっていなかったり、学習していなかったりする保護者にも、理解しやすく、関心を高められるよう、デザイン・レイアウトを工夫した。（デザイン・レイアウトの工夫にあたって、平成27年度に締結された「倉敷市と倉敷芸術科学大学との連携協力に関する協定」に基づき、同大学芸術科学学部メディア映像学科に協力いただいた。）

3 配布先

保護者(市立幼稚園、小・中・高・特別支援学校) 約43,000部
 学校園・教職員(市立幼稚園、小・中・高・特別支援学校) 約4,000部
 教育委員会各部署等 約3,000部
 計50,000部

4 配布時期

令和3年4～5月に学校園に配布する。（学校園は、令和3年度のPTA人権教育研修会等を通じて保護者に配布する。）

5 活用について

令和3年度の学校園PTA人権教育研修会における研修資料として活用する。有効に活用できるよう、「活用の手引き」を作成し、校園長会や人権教育担当者会等で解説する。

6 その他

倉敷市教育委員会人権教育推進室HPに掲載することで、閲覧・ダウンロードできるようにする。

保護者に
知ってほしい

多様な性



皆さんは子どもの頃、性のことや男らしさ・女らしさなどのことで、いろいろと悩むことがありませんでしたか。今も同じように悩んでいる子どもがいます。それは、いつの時代も変わらないことかもしれませんが、近年はそれに加えて、性別違和感や性的指向に関する悩みや困りごと表面化しています。ひょっとしたら皆さんの周りにも性別に関する悩みや、いわゆる「女/男らしさ」などの決めつけに、モヤモヤした気持ちや不安を抱えている子どもがいるかもしれません。そのような子どもに私たち大人は何ができるのでしょうか。

このリーフレットには、保護者世代の方に多様な性について理解していただくことができるよう、子どもの現状や性のかたち、大人ができること、相談先などを掲載していますので参考にしてください。

倉敷市教育委員会